

午後II試験

問1

出題趣旨

システム開発プロジェクトでは、プロジェクトの目標を達成するために、プロジェクトマネジメントの対象に関するマネジメントの方法を定義してプロジェクトマネジメント計画を作成する。その際、組織で定められた標準や過去に経験した事例を参照することは効率が高くまた効果的であるが、個々のプロジェクトの独自性を考慮して修整（テーラリング）することが重要である。

本問は、個々のプロジェクトの独自性を考慮してマネジメントの方法をどのように修整し、その修整が有効に機能しているのかをどのようにモニタリングし、その結果にどのように対応したのかを、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネジメント業務を担う者として有すべき、プロジェクトマネジメント計画の修整に関する知識、経験、実践能力を評価する。

問2

出題趣旨

昨今の不確実性が高まるプロジェクト環境において、組織のプロジェクトマネジメント能力を高めるためには、重要な目標の一部を達成できずにプロジェクトを終結した（以下、目標未達成という）場合、その経験を学びの機会と捉えて組織のプロジェクトマネジメント能力の向上につなげる必要がある。

本問は、目標未達成のプロジェクトチームとして、目標未達成の根本原因を究明する方法や体制、究明する過程で生かした第三者や組織内外の事例や知見、及び再発防止策を組織へ定着させる工夫について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネジメント業務を担う者として有すべきプロジェクトの終結での適切なプロジェクト全体の総括に関する知識、経験、実践能力を評価する。